

# CASBEE®新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1. 建物概要			
建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	(仮)中央区学校町通2番町学生マンション 新築工事 新潟県新潟市中央区学校町通二番町5247番20、21、126 第一種中高層住居専用地域、準防火地域 集合住宅 2022年3月 竣工 917.27 m <sup>2</sup> 564.95 m <sup>2</sup> 2,208.62 m <sup>2</sup> 地上4F RC造 実施設計段階評価 2021年9月16日		
2. CASBEE新潟の評価結果			
 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★	B-	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{39.7}{41.7} = 0.9$	
3. 新潟市の重点項目の評価			
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	平均スコア <b>3.0</b>		バリアフリー計画 Q2.1.1.3 3.0 維持管理 Q2.1.3 3.0 設備の更新性 Q2.3.3 3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	平均スコア <b>3.0</b>		耐震・免震・制震・制振 Q2.2.1 3.0 信頼性 Q2.2.4 3.0
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	平均スコア <b>3.0</b>		雨水排水負荷低減 LR3.2.3.1 3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア <b>3.0</b>		建物外皮の熱負荷抑制 LR1.1 3.0 自然エネルギー利用 LR1.2 3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア <b>2.7</b>		節水 LR2.1.1 3.0 躯体材料以外でのリサイクル材の使用 LR2.2.4 1.0 部材の再利用可能性向上への取組み LR2.2.6 4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	平均スコア <b>1.5</b>		生物環境の保全と創出 Q3.1 1.0 敷地内温熱環境の向上 Q3.3.2 2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	平均スコア <b>2.0</b>		まちなみ・景観への配慮 Q3.2 2.0 地域性への配慮、快適性の向上 Q3.3.1 2.0
4. 新潟市の重点項目の配慮事項			
躯体と仕上げ材が容易に分別可能なつくりにして、部材の再利用が可能になるように考えられている。			

# CASBEE®新潟

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮)中央区学校町通2番町学生マンション 新築工事	階数	地上4F
建設地	新潟県新潟市中央区学校町通二番町5247番20、21、126	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	78人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年3月 竣工	評価の実施日	2021年9月16日
敷地面積	917㎡	作成者	浅間 利洋
建築面積	565㎡	確認日	2021年9月16日
延床面積	2,209㎡	確認者	浅間 利洋



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 0.9</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.5</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.2</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.5</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.7</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.7</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>建物の長寿命化・室内環境の向上に配慮した設計となっている。主たる居室へ窓から自然光や自然風が取り入れやすくされている。駐輪場が十分に設置されており、入居する学生が生活しやすいようにされている。</p>		<p>その他</p> <p>特に無し</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>内装にF☆☆☆☆の材料をほぼ全面的に採用している。十分な大きさの開閉可能な窓を主要な居室に設置されていて自然換気が十分にされ、室内環境の向上に寄与している。窓から自然光も十分に取り入れられるようになって</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>内装材や外装材に耐用年数の長い建材を採用し、建物の長寿命化を図っている。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>住宅街のまちなみに調和するような外観の設計を行っている。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LED照明を全面的に採用し設備の高効率化を図っている。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>躯体と仕上げ材が容易に分別可能なくくりにして、部材の再利用が可能になるように考えられている。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>駐車場・駐輪場・ゴミ捨て場などを建物の周りに設置し、入居者の生活しやすい環境を作っている。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される